

令和5年度 事前評価書要旨

対象事業名	西三河工業用水道強靱化事業
1. 事業の目的	
<p>あ業びう更、平の知平た。ト強 日事及よ備、村愛をし海補 一 道化す設、て町「）施南震 に水劣た、と市、。実「耐 域用のきに、と県ら、を下の 地業備をめ、訓本かい強以設 部工設障た、教にとと補（施 北本、支る。を年こ」と耐震存 河。設にする。災4た画耐地震既 三。施理続い震1れ計の耐地震 西ある管継て大成さ施の直し びでよしをし路平定実物の見 よ業に発宮施淡、指「築れを お事用多運実・りに下建恐画 部道使がなを神お域以、る計 海水の等正等阪て地（橋す施 臨用年障適えのめ化」管生実 浦業長故の替年進強画水発、 衣工、の業り7を策計（でえ、 なるし備事取成ど対施設フ加 主す始設道な平な災実施ラを 、水開や水正、化防策存ト策 は給を水用適は震震対既海対 業を水漏業の耐地震、南の 事m³給の工備道の防しは、 道0に路、設水橋係震定に、 水道0度管り、用水管に地策月う。 用0年、おし業水震道に3い。 業、0いて定工ら地水月年とる。 工05伴き策営か海用17」い、 河0和にてを県度東業年2震て 三3昭化っ画知年が工5成地っ 西り、朽な計愛9く営1平フ行本 たは老に新成多県成ラを配</p>	
2. 事業の必要性	
<p>よし特別内の 用多策地用 使が対進業 の等震推工 年障地策、 の規災図り、 、の防災を し、備大防を 始設、震化 開やた地靱 を水まフ強 水漏、ラる 給のめトよ に路た海に 度管の南事 50年、及び工 0年、及び工 50年、及び工 和にて域化 昭化っ地震 老に強耐 は老に強耐 業びう対策 事及よ対策 道化す災、要 水劣た防め必 用のき震たる 業備を地震 工設障くあを 河に支づが給 西三河工業用水道事業に係る政策評価実施要領に照らし合せた結果、前提指標と る管法に安定供給を確保する必要がある。</p>	
3. 効果とコストとの関係に関する分析	
A. 総便益	; 137.71 億円
B. 総費用	; 122.07 億円
費用便益比	; 1.13 (A / B)
4. 評価結果	
<p>工費用水道事業に係る政策評価実施要領に照らし合せた結果、前提指標と であること。費用から、本事業は補助対象を満たして、当該事業の費用便益比が1.13とあり、事業の採算性が確保されていると評価される。</p>	